



おおすえ かいと
大末 海斗さん

国東高等学校双国校 野球部

主将の大末 海斗さん（3年生）は、小学校1年生から野球を始め、中学までは主にセカンドを守っていましたが、高校からはサードを守り2年生からレギュラーで活躍しています。現チームは、3年生6名と2年生1名の計7名で、宇佐産業科学高等学校との連合チームで大会に出場しています。3年生は、昨年5月から夏の大会終了まで、保護者の協力により寮での共同生活をしており、部員同士の絆を深めてきました。

海斗さんは、「部員が少なく、連合チームであるなど不利な条件を言い訳にせず、今まで培ってきたチームワークで頑張ります。そして、打撃でも守備でも1球1球を追いかけて、みんなで公式戦1勝を掴み取りたいです」と話していました。



なんば じゅんいち
難波 淳一さん

株式会社オンリーワンライフサービス
(武蔵町糸原)

難波 淳一さんは、市内で内装業をしていましたが、9年前に知人が経営していた「居楽家ほろほろ」を引き継ぎました。1年間そのままの店舗で経営していましたが、手狭だったこととお客様から個室が欲しいとの要望を受け、近隣の店舗に移りました。それに併せてスタッフの福利厚生を充実させるために法人化し、「株式会社オンリーワンライフサービス」を設立しました。その後、幅広い客層に対応するためメニューを増やし、今では市内でも有数の品数を誇るようになりました。

淳一さんは、「料理が好きで始めた飲食業ですが、今ではお客様と直に接する従業員がお店の宝と考えています。スタッフ一人ひとりがお客様のことを考えて行動することによって、全てのお客様が笑顔で帰られるお店を目指していきたい」と話していました。



くろき よしあき
黒木 義昭さん

株式会社テオリック (国東町小原)

黒木 義昭さんは、15年以上地元の国東町でタチウオ漁を行っていましたが、古くからの知人である工場長に誘われ、今年の3月に「株式会社テオリック」に入社しました。現在は、超精密な金属加工の研磨作業を行っています。今まで経験したことのない作業ばかりでしたが、上司の丁寧な指導もあり、同期入社の人と切磋琢磨しながら技術を磨いています。

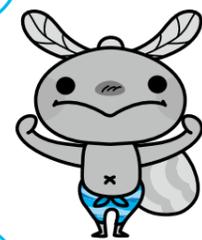
義昭さんは、「これまでは自然と向き合う仕事でしたが、今は職場の人達に支えられて仕事をしており、人とのつながりを強く感じています。また、土日に休むことができるようになり家族と過ごす時間が増えました。



未経験者の私がここで働けているのは、地元雇用に入れている会社のおかげで、早く会社に恩返しできるように日々精進していきます」と話していました。



同期入社の皆さん



各分野で光を放っている 人にスポットをあてる

国東の輝きひと

Vol.3



のぐち のぼる
野口 登さん

(国見町赤根)

野口 登さんは、平成13年に両親が長年守り続けてきた低温菌シイタケ栽培を継承しました。当時は、乾シイタケの価格が低迷し、安定した経営をするのが困難な時代でした。また、平成18年に倉庫が火事になり、農機具の全てが燃えてしまいましたが、原木が残っていたこととシイタケの価格が徐々に上昇したことで、なんとか乗り越えることができました。

登さんは、「低温菌シイタケは、収穫時期が2月から3月までの2か月しかなく、天候の影響を強く受けます。近年は気候の変動も大きく、良いシイタケを栽培



することが難しくなってきましたが、香りが強く味が濃い特徴のある昔ながらのこのシイタケを、しっかりと守り続けていきたいです」と話していました。



左から母の野口 チヨノさん、登さん、妻の望美さん